

2022年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社 銀座山形屋  
代表者名 代表取締役社長 小口 弘明  
(コード：8215、東証スタンダード)  
(URL<https://www.ginyama.co.jp/>)  
問合せ先 取締役管理部長 瀬戸山 英児  
(TEL. 03-6866-0276)

## 2022年3月期業績予想との差異並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間において、特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。これを踏まえ、2021年5月13日の2021年3月期決算短信発表時に開示した2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想と比較して、下記のとおり差異が生じたので併せてお知らせいたします。

### 1. 特別損失について

当社は、2022年3月第4四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、連結子会社の店舗等の固定資産について、将来収益を保守的に見直した結果、特別損失として減損損失23百万円を計上することといたします。

当期の連結業績予想数値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	3,697	5	38	28	16円23銭
実績（B）	3,523	△58	62	44	25円66銭
増減額（B－A）	△174	△63	24	16	－
増減率（％）	△4.7	－	63.1	57.1	－
（参考）前期連結実績（2021年3月期）	3,230	△711	△478	△690	△400円10銭

### 2. 差異の理由

営業利益につきましては黒字化を見込んでおりましたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出の影響等により、売上高が1億74百万円減収となり、58百万円の営業赤字となりました。一方経常利益は雇用調整助成金収入57百万円及び期限到来仕立金を営業外収益に13百万円等を計上した結果、62百万円となりました。この結果、親会社に帰属する当期純利益が予想を上回りました。

以 上